

# eLite 取扱説明書



モデル: eLite

2023.12 Version 1.1

Copyright © ePropulsion Technology Limited



# お客様へ

---

クリーンで、安全や信頼性の高い電動船舶推進システムの世界的リーダーである ePropulsion 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。新しいモーターにきっとご満足いただけると思います。お気軽にお問い合わせください。

[www.epropulsion.com](http://www.epropulsion.com)

## 安全にご使用いただくために

---

ご使用する前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、製品の正しく安全な使用方法について詳しくご理解下さい。この製品を使用することにより、このマニュアルの内容をすべて読んで理解したことに同意をお願いします。電動船外機の操作方法をすべてご理解いただきますようお願いいたします。また、船外機の操作に不慣れな方への貸出は、ご遠慮下さい。ePropulsionは、このマニュアルに反する操作によって引き起こされた損害または傷害に対しても責任を負いません。弊社製品の継続的な最適化により、ePropulsionは、マニュアルに記載された内容を常に調整する権利を留保します。最新版については、当社ウェブサイト [www.epropulsion.com](http://www.epropulsion.com) をご覧ください。購入されました製品とこの取扱説明書との間に矛盾がある場合、または製品や取扱説明書に関する疑問がある場合は、当社ホームページまたはカスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。ePropulsionは、このマニュアルの最終的な解釈の権利を留保します。このマニュアルは多言語であり、異なる言語バージョンの解釈に不一致がある場合は、英語版が優先されます。ePropulsionは、著作権、特許、ロゴ、デザインを含むすべての知的財産権及び工業所有権を保有しています。

## 安全に関する注意事項

---

ePropulsion では、安全を優先し、お客様と財産に対するリスクを最小限に抑えるよう努めています。当社製品をご使用になる皆様へは、マニュアルに記載されている指示を遵守し、マニュアルと製品ラベルの両方に記載されている安全情報に十分注意を払うことを強くお勧めします。これには、製品の取付、操作、メンテナンスおよびサービスに携わる方々も含まれます。ユーザーマニュアルや製品に貼られたラベルには、次の情報記号が記載されています。

危険または警告の兆候：

これらの兆候は、回避しないと次のような事態につながる可能性がある潜在的な危険または重大なリスクを示しています。重傷を負ったり、場合によっては死亡したりする可能性があります。お客様の安全と製品の安全を確保するには、細心の注意を払うことが重要です。

### 役に立つ情報やヒント

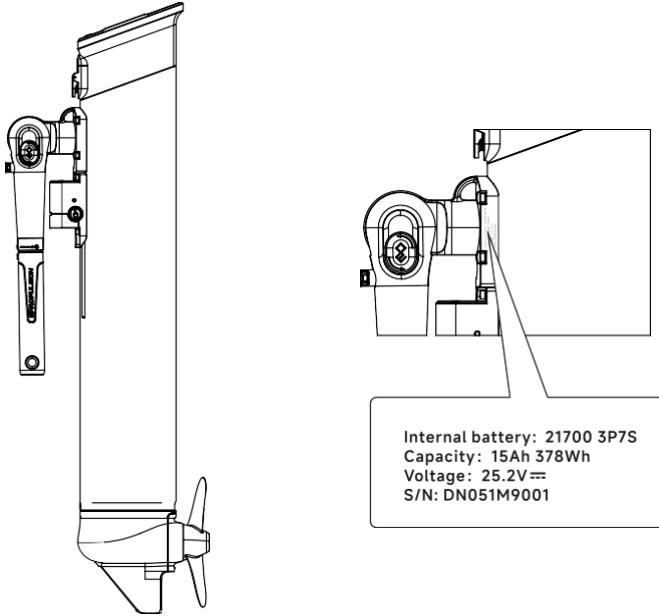
これらのセクションでは、船外機の使用方法を迅速に理解し、運用効率を高めるための貴重な情報と洞察を提供します。安全警告標識に続く指示を読み、従うことを強くお勧めします。

### 重要な指示または警告

ePropulsion 製品の取付、操作、メンテナンス、またはサービスに関しては、さまざまな安全上のリスクが伴います。常に警戒を怠らず、必要な操作を慎重に実行し、プロセス全体を通じて安全を優先することが重要です。

# シリアル番号の識別と記録

製品のシリアル番号は、以下に示す場所で確認できます。シリアル番号は、アクセサリ類を購入する際、サービスや保証サポートを求めるとき、または製品が盗難した場合に必要な場合があります。今後参照できるよう、シリアル番号をすぐに確認できる安全な場所に必ずメモしてください。



# 目次

---

お客様へ・安全にご使用いただくために .....	1
安全に関する注意事項 .....	1
シリアル番号の識別と記録 .....	3
<b>1 製品概要</b> .....	<b>6</b>
1-1 製品内容.....	6
1-2 部品と図解.....	8
1-3 仕様 .....	9
1-4 重要事項説明.....	10
1-4-1 モーター .....	10
1-4-2 ユーザー .....	10
1-4-3 ボートに関する一般的なアドバイス .....	10
1-4-4 モーターの特性.....	11
1-5 Declaration of Conformity.....	11
1-6 動作には次の2つの条件が適用.....	12
1-7 製品の処分.....	13
<b>2 ティラー</b> .....	<b>14</b>
2-1 ティラー角度.....	14
2-1-1 フリーモード .....	14
2-1-2 固定モード.....	14
2-2 スロットルローテーション.....	15
2-3 ティラーの延長.....	15
2-4 ステアリング角度.....	16
<b>3 クランプブラケット&amp;クイックリリースマウント</b> .....	<b>17</b>
3-1 シャフトの長さ.....	17
3-2 トリム角度.....	17
3-3 シャローウォーター（浅瀬）モード .....	19
3-4 アンチグランディング（接地防止）モード .....	20
3-5 ステアリングフリクション調整/固定 .....	22
<b>4 取付</b> .....	<b>23</b>
4-1 クランプブラケットの取付 .....	23
4-2 モーターの取付.....	24
4-3 モーターの取り外し.....	25
<b>5 運転</b> .....	<b>27</b>
5-1 運転前チェックリスト.....	27

5-2	運転開始	27
5-2-1	標準モード	27
5-2-2	スポーツモード	29
5-3	運転停止	29
5-4	チルトアップとリリース	30
5-4-1	モーターチルト	31
5-4-2	モーターリリース	31
<b>6</b>	<b>インターフェース</b>	<b>33</b>
6-1	ディスプレイパネル	33
6-2	電源ボタン	33
6-3	キルスイッチ	35
6-4	バッテリーインジケータ	37
6-5	トラブルシューティング	38
6-5-1	フォルト(故障)インジケータ	39
6-5-2	エラーコード	39
<b>7</b>	<b>バッテリー</b>	<b>40</b>
7-1	AC-DC 充電	40
7-2	充電インジケータ	41
<b>8</b>	<b>USB Type-C 出力</b>	<b>42</b>
<b>9</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>43</b>
9-1	注意事項	43
9-2	プロペラ点検/交換	43
9-3	電気接続メンテナンス	44
<b>10</b>	<b>輸送と保管</b>	<b>45</b>
10-1	ポータブル	45
10-2	船外機バック	46
<b>11</b>	<b>緊急事態/緊急措置</b>	<b>47</b>
11-1	衝突	47
11-2	船外機の水没	47
<b>12</b>	<b>保証</b>	<b>48</b>
12-1	保証の条件	48
12-2	保証範囲	49
12-3	限定保証の請求手順	49

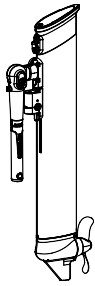
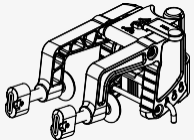
# 1 製品概要

ePropulsion eLite 電動船外機は、リチウムイオンバッテリーで駆動する船外機です。最大 750Wの出力を備え、多くの小型ボート用途に信頼性の高い推進力を提供します。eLite には、持ち運びと保管を容易にし、ユーザーの利便性を高める次のような設計上の特長がいくつかあります。

- ・統合型情報ディスプレイ
- ・さまざまなボートや操船位置に合わせて折りたたみ可能かつ拡張可能なティラーハンドル
- ・スピーディーな取り付け及び取り外しのためのクイックリリースクランプブラケット
- ・さまざまなボートで使用できるようにシャフトの長さを調整可能
- ・外部電子機器用の USB Type-C 充電ソケット

## 1-1 製品内容

開梱し、以下のリストと照合して内容物を確認してください。不足品や破損がある場合は、販売店にご連絡ください。

番号	アイテム	数量	形態	機能
1	船外機 本体	1		ボートに推進力を 提供します
2	クランプ ブラケット	1		船外機をトランサム に確実に取付、クイ ックリリース機能付 き



番号	アイテム	数量	形態	機能
3	AC チャージャー	1		バッテリーへ充電を行う
4	船外機 バック	1		船外機の保管 ・運搬用
5	キルスイッチ リストバンド	2		船外機を緊急停止する
6	六角 レンチ	1		クイックリリース ブラケットクランプの ネジの調整。 プロペラの交換。
7	ユーザー マニュアル 保証書	1		
8	クイック スタート ガイド	1		船外機の主な機能の クイックリファレンス ガイド



輸送および保管のために、元の梱包材を保管しておくことをお勧めします。

# 1-2 部品と図解

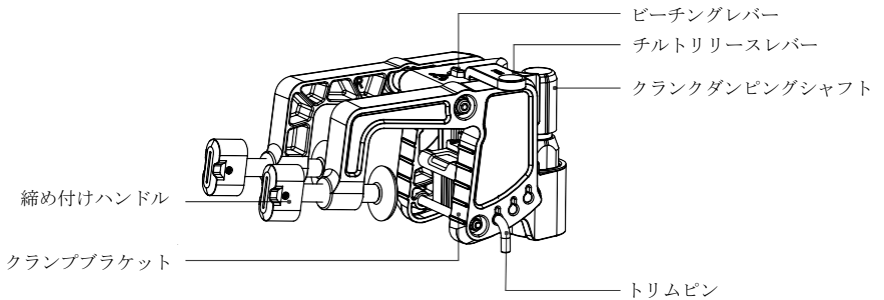
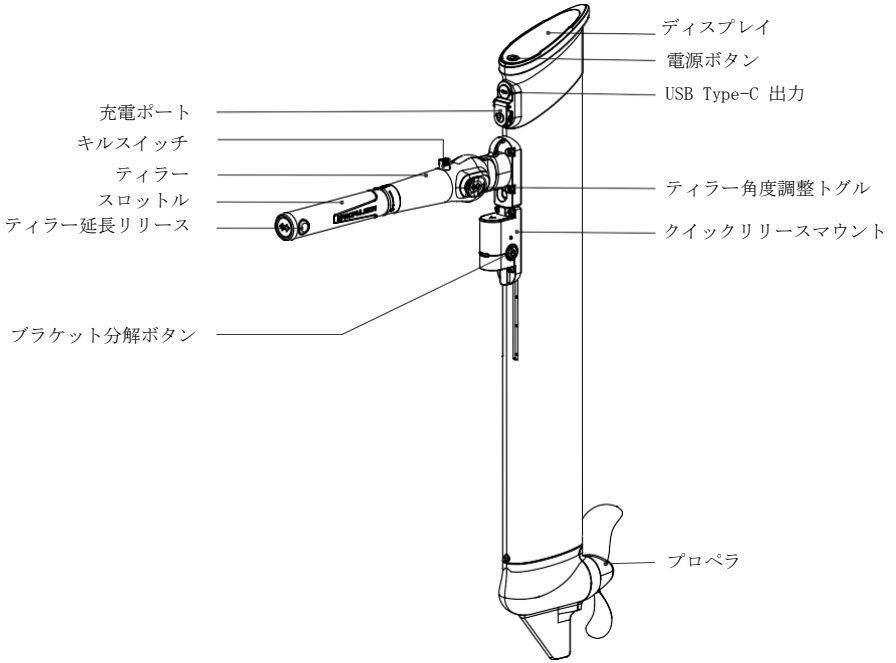


図 1.1

### 1-3 仕様

モデル名	eLite
定格出力	500 W
最大出力	750 W
定格電圧	25.2 Vdc
電圧(範囲)	19.25 Vdc - 29.4 Vdc
質量	6.7 kg(クランプブラケット含まない)
調整可能シャフト長さ (プロペラからトランサムまで)	282.5 - 401 mm
寸法 (LxWxH_ブラケット クランプ以外)	297 mm * 75 mm * 890 mm
冷却方法	水冷
定格回転速度	1450 - 1800 rpm
運転可能温度	-5 - 55 °C
保管温度	-20 - 45 °C
操作と作用	ロータリースロットルティラー / キルスイッチ / ディスプレイ / 電源ボタン
プロペラ	2ブレード プロペラ, 直径194mm
チルト角度	75°
ステアリング角度	±70°
バッテリー容量	378 Wh
バッテリー種類	内蔵バッテリー(取り外し不可)
防水規格	IP67

## 1-4 重要事項説明

### 1-4-1 モーター

適切な船外機を選択する際は、ボートメーカーの仕様および ePropulsion 認定ディーラーのアドバイスに従ってください。許容最大電力を超えたり、モーターに過負荷をかけたりしないでください。

### 1-4-2 ユーザー

- (1) この製品は、マニュアルをよく読んで理解した成人のみが操作することができ ePropulsion は、本書の内容に反した操作により生じた損害或不具合について、一切の責任を負いません。
- (2) このモーター システムは、ボートの操作に関する他のすべての状況に熟知している方が操作してください。ボートに慣れていない場合は、潮、風、波などのさまざまな状況でボートがどのように動作するかを学ぶ必要があります。必要に応じて、専門家のアドバイスや指示を受けてください。モーターやボートの動作に不安がある場合は、使用前に販売店にご相談ください。

### 1-4-3 ボートに関する一般的なアドバイス

運転前：

- (1) モーターとモーターが取り付けられているボートのすべての機能と操作をよく理解してください。緊急時に代わりに乗船できる人がボートとそのシステムを熟知していることを確認してください。
- (2) ボートに乗る前に気象状況を確認し、天気予報を参照してください。危険な気象条件でのボート乗船は避けてください。
- (3) 救命胴衣、浮力補助具またはその他の個人用浮力装置、消火器、ベルおよびホイッスル、通信機器、およびパドルなど十分な安全装置が運用可能であることを確かめて下さい。
- (4) ボートと機器がボート安全規制に準拠していることを確認してください。
- (5) 電気船外機がボートの唯一の動力源である場合は、船上のバッテリーが往復に十分な充電があることを確認してください。少なくとも、距離に影響を与える可能性のある風、潮流、その他の影響を考慮して、バッテリー消費量を計算する必要があります。
- (6) 航行計画は、必要に応じて家族、友人、当局に必ず報告してください。
- (7) アルコールや薬物を服用した状態でボートを操縦しないでください。ボート事故の約50%は飲酒に関連しています。

## 運転中：

- (1) 乗組員全員は、**PFD** (救命胴衣や浮力補助具などの個人用浮力装置) を装備し、着用する必要があります。ボートに乗るときは必ずPFDを着用してください。
- (2) ドライバーは、手首、足首、または衣服 (浮力補助具、ジャケットなど) の安全な位置にランヤードを取り付けて、キルコード (キルスイッチ) を常に着用する必要があります。操船者が船外に転落した場合 (または誤って舵から離れた場合)、ストラップがスロットルからキルコードを引き抜き、船外機を停止します。
- (3) 他の船舶、水泳者、その他の水中の物体に注意してください。港、海岸、ビーチの近くでは特に注意し、可能であれば遊泳エリアを避けてください。
- (4) 誰かが船外に落水した場合、または衝突があった場合は、船外機を直ちに停止してください (最も早い方法はキルスイッチをスロットルから外すことです)。

### 1-4-4 モーターの特性

- (1) 船外機が水中の物体と大きな衝撃を受けた場合は、ただちに運転を停止してください。船外機に損傷がないか確認し、安全に航行できると思われる場合は、低速で最寄りの港に戻ります。安全に航行できないと思われる場合は、救助と牽引を求めてください。
- (2) 船外機は、プロペラが水中に沈んでいる場合にのみ操作してください。空中での操作は固く禁止されています。
- (3) ボートが帆などの他の手段によって動力を得ている場合は、船外機を水中に放置しないでください。
- (4) 船外機を海水で使用された場合は、必ず真水で洗い流してください。
- (5) 充電および **Type-c** ポートのカバーは常にしっかりと閉めてください。約2ヶ月ごとに、充電器の接点と USB ソケットをコンタクト スプレーで掃除してください。
- (6) 使用しないときは、船外機を水から上に傾けてください。
- (7) 船外機が故障した場合、ディスプレイにエラーメッセージが表示され、停止するか電力低減モードに入る可能性があります。故障の最も可能性の高い状況には、衝突、障害物 (プロペラの周りの海草やロープなど)、モーターの温度が高すぎる、バッテリー電圧が低いなどがあります。

## 1-5 Declaration of Conformity

**Object:**

**Product:** Electric Outboard Motor

**Model:** eLite



Company Name: Guangdong ePropulsion Technology Limited

Company Address: Room 801, Building 1, 11 Daxue Road, Songshan Lake, Dongguan,  
Guangdong Province, China

We declare that the design of the eLite outboard motor complies with the following directives:

EMC Directive 2014/30/EU;

MD Directive 2006/42/EC;

RoHS Directive 2011/65/EU & 2015/863/EU.

Applicable standards:

EN IEC 61000-6-2:2019

EN IEC 61000-6-3:2021

EN 60204-1:2018

EN ISO 12100:2010

IEC 62321-5:2013

IEC 62321-4:2013+A1D1:2017

IEC 62321-7-1:2015

IEC 62321-7-2:2017

IEC 62321-6:2015

IEC 62321-8:2017

European Representative Information:

Name: REP Europe GmbH

Address: Werner-von-Siemens-Str. 2, 64319 Pfungstadt, Germany

Phone: +49 157 51253212

Email: info@rep-europe.de

Signed by:



Mr. Tao Shizheng is the CEO and co-founder of Guangdong ePropulsion Technology Limited.

## 1-6 動作には次の2つの条件が適用

- (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こす可能性はありません。
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信するあらゆる干渉を受け入れる必要があります。

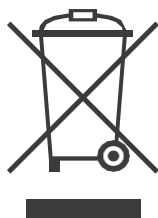
### 備考:

この機器はテストされ、FCC 規制のパート 15 に基づく Class B デジタル デバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有

害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（装置の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます）、ユーザーは次の1つまたは複数の手段によって干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変更します。
- 機器と受信機との距離を広げます。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

## 1-7 製品の処分



このマークは、EU 全域でこの製品を他の家庭廃棄物と一緒に処分してはならないことを示しています。管理されていない廃棄物処理による環境や人の健康への危害を防ぐために、責任を持って廃棄物をリサイクルし、物質資源の持続可能な再利用を促進します。使用済みデバイスを返品するには、返品および回収システムを使用するか、製品を購入した販売店にお問い合わせください。この製品を環境に安全なリサイクルに利用できます。

## 2 ティラー

### 2-1 ティラー角度

ティラーの角度は、ポート内の位置に合わせて、水平の上  $90^\circ$  から下  $90^\circ$  まで調整できます。「フリーモード」では自由に調整出来ますが、「固定モード」では 4 つの固定可能なトリム角度 ( $-90^\circ$ 、 $0^\circ$ 、 $45^\circ$ 、 $90^\circ$ ) があります。

#### 2-1-1 フリーモード

ティラー調整トグルをどちらかの方向に  $90^\circ$  回転させます。トグルは回転すると外側に跳ね上がり、ティラーは  $-90^\circ$  から  $90^\circ$  までの任意の角度に自由に調整できます。

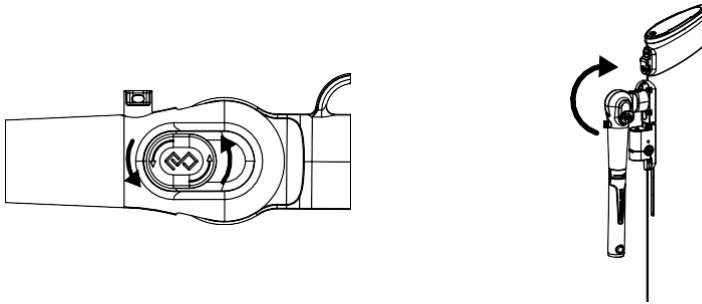


図 2.1

#### 2-1-2 固定モード

トグルを引き出すと、ティラーを 4 つの固定位置 ( $-90^\circ$ 、 $0^\circ$ 、 $45^\circ$ 、 $90^\circ$ ) のいずれかに調整できます。トグルを押し戻してロックします。

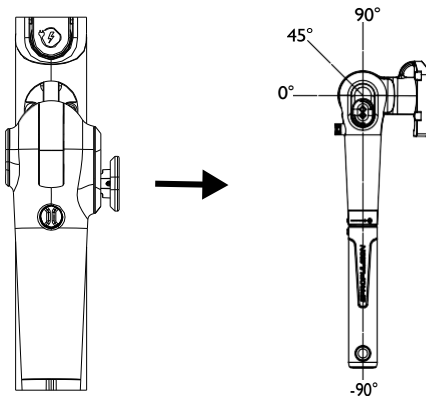


図 2.2



## 2-2 スロットルローテーション

モーターの方向 (前進または後進) と電力入力は、スロットルハンドル (ティラー先端) の回転によって制御されます。F 位置は前進、N 位置はニュートラル、R 位置は後進です。ティラーシャフトとスロットルハンドルの隆起したインジケーターが一行に並ぶと、ニュートラルが選択されます。F と R を切り替えると、モーターはその位置の前後数角度ニュートラルのままになります。

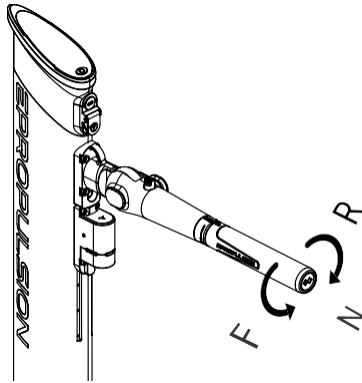
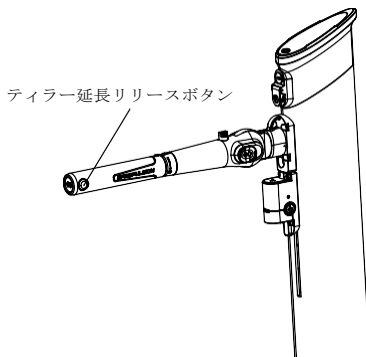


図 2.3

## 2-3 ティラーの延長

ティラーは、最大13cmまで伸ばすことができるため、ボート内での位置調整がしやすくなります。これを行うには、ティラーの先端にあるボタンを押して外側に引き出します。ティラーは完全に引き込まれると自動的に所定の位置でロックされます。



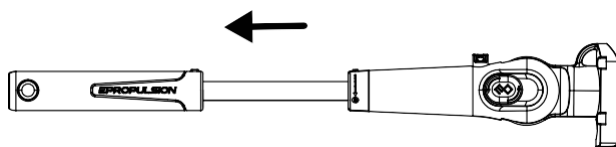


図 2.5

**⚠** 運転中は、ティラーを伸ばした状態で船外機をチルトアップさせないで下さい。

## 2-4 ステアリング角度

ボートはティラーの動きによって操縦され、モーター シャフトを中央から両側に最大  $70^\circ$  回転させることができます。クランプ ブラケット ダンピング シャフトを調整することで、ステアリングの抵抗を調整したり、所定の位置に固定したりできます（セクション 3.5 を参照）。

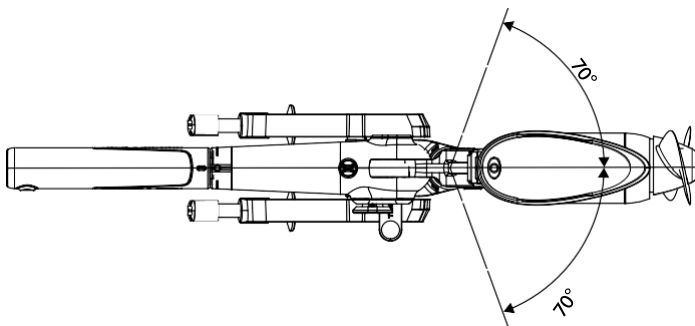


図 2.6

# 3 クランプブラケット&クイックリリースマウント

## 3-1 シャフトの長さ

シャフトの長さは、プロペラ上部からトランサム上部までの距離として定義されます。シャフトの長さは、401mm、362.5mm、322mm、282.5mm の 4つの位置に調整できます。デフォルト設定は 401mm です。シャフトの長さを調整する必要がある場合は、六角レンチを使用して、クイックリリース マウントをシャフトに固定している 4本のネジを取り外します。クイックリリース マウントの位置を必要なシャフトの長さに調整します。ネジにネジロック剤を塗布し、4本のネジを元に戻して六角レンチで締めます。

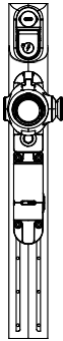


図 3.1

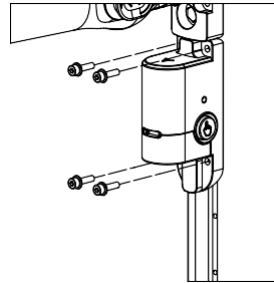


図 3.2

## 3-2 トリム角度

船外機のトリムは、さまざまなボートやトランサムの角度に合わせて調整できます。ブラケットのトリムピンを動かすと、8° 17° 26° の3つの位置を選択できます。ボートに荷物を積んで使用する時にプロペラが垂直に最も近くなる位置を選択して下さい。

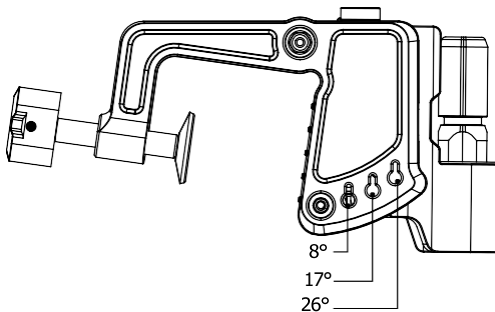


図 3.3

ステップ 1: トリムピンを内側に押し込み、ハンドルを上に向けて 180 度回転させます

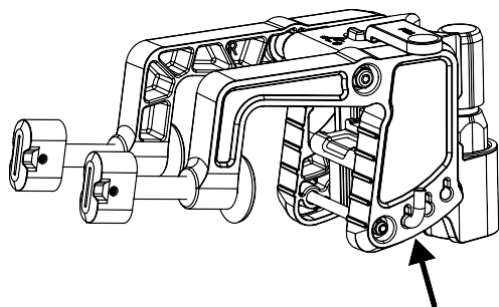


図 3.4

ステップ 2: トリムピンを引き抜きます

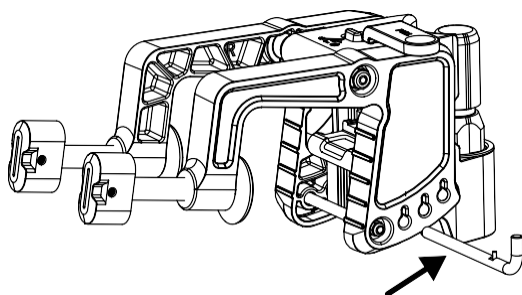


図 3.5

ステップ 3: 必要に応じて船外機のトリム角度を調整し、トリムピンを対応する穴に挿入します。

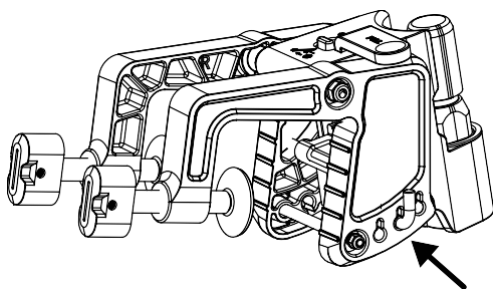


図 3.6

ステップ 4：トリムピンを内側に押し締めて、180°回転させます。

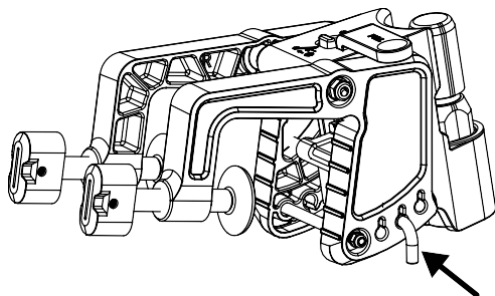


図 3.7

### 3-3 シャローウォーター（浅瀬）モード

eLite 船外機には浅瀬モードがあります。これにより、ビーチやスリップウェイ（傾斜面）に近づくときなど、浅瀬で船外機を部分的に傾けて操作を継続できます。

**!** 浅瀬モードでは、プロペラが水面から飛び出して怪我をする恐れがあるため、後進ギアを使用しないでください。

ステップ 1：レバーを上を持ち上げます。

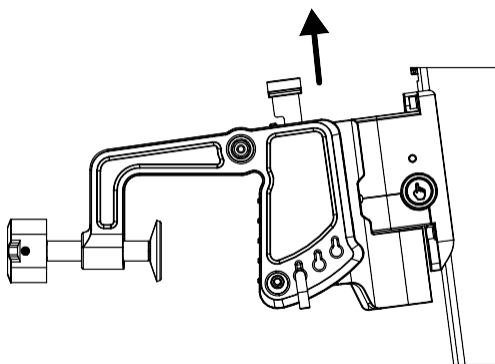


図 3.8

ステップ 2： 船外機を浅瀬モードの位置でチルトアップさせ（カチッという音がします）、手を離します。これで、船尾から外側に 36 度傾いた状態で、モーターはこの位置に留まります。

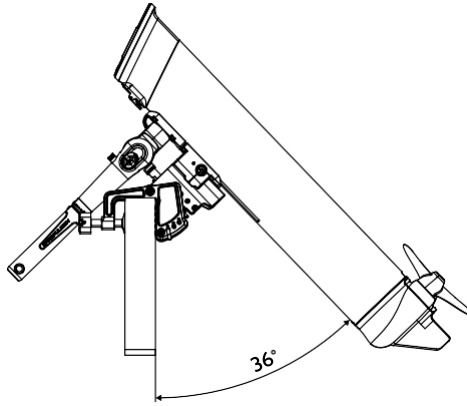


図 3.9

### 3-4 アンチグランディング（接地防止）モード

アンチグランディング（接地防止）モードがあり、障害物（岩など）に衝突するとシャフトが自動的に跳ね上がります。また、ビーチに近づくときなど浅瀬に進入するときにも便利です。

**⚠** アンチグランディング（接地防止）モードでは、プロペラが水面から跳ね上がり、怪我をする可能性があるため、後進ギアを使用しないでください。

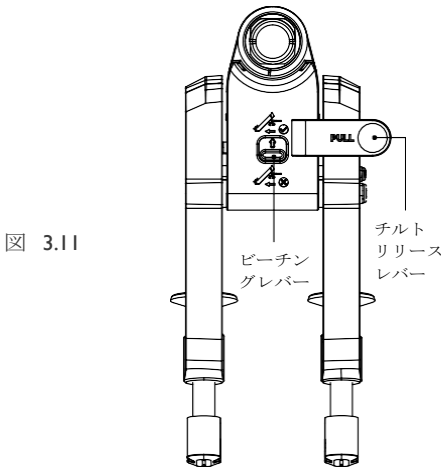


図 3.11

ステップ 1: トリムレバーを引き上げ、持ち上げます。

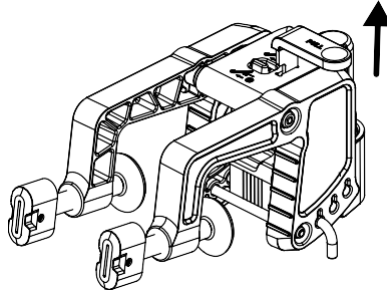


図 3.11

ステップ 2: ピーチレバーをトリムレバーの方へ押し戻します。

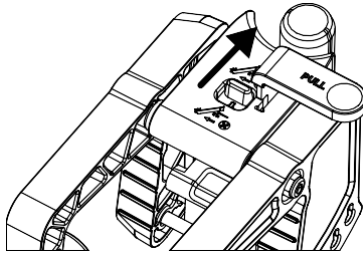


図 3.12

ステップ 3: トリムレバーを放すと、上の位置に留まります。

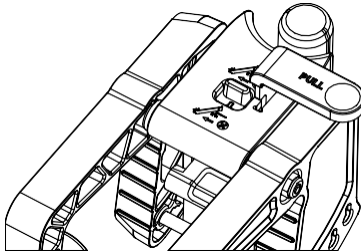


図 3.13

### 3-5 ステアリング フリクション 調整/固定

ステアリングフリクションは、ダンピングスクリュー（クランプブラケットダンピングシャフト下部）の調整により変更可能です。このネジをさらに締めると、たとえば独自の舵を備えたボートに使用する場合、ステアリングをロックすることもできます。

ステップ 1: 船外機の方向を好みに合わせて調整します

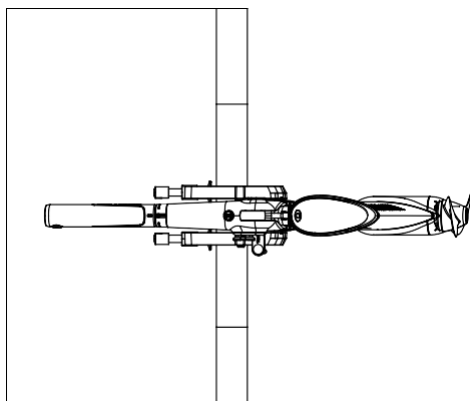


図 3.14

ステップ 2: ダンピングスクリューを10mm六角レンチで締めます。

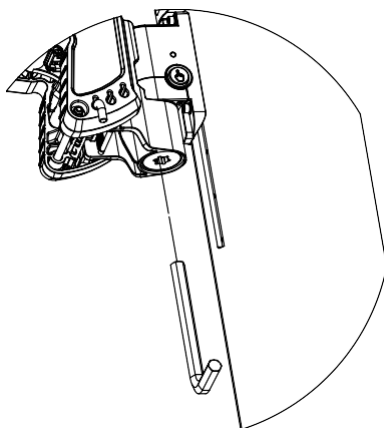


図 4



## 4 取付

- ⚠** ブラケットクランプが正しく固定されていない場合、船外機が脱落し、物的損害、重傷、または死亡につながる可能性があります。

### 4-1 クランプブラケットの取付

**💡** クランプブラケットを取り付ける前に必ずご確認ください

1. クランプブラケットが正常に機能するかどうか。
2. 構成部品の緩み。
3. クランプ金具に亀裂が入っていないか。

ステップ 1: クランプブラケットのチェック

ステップ 2: クランプブラケットをトランサム中央に配置し、クランプハンドルを締めます。

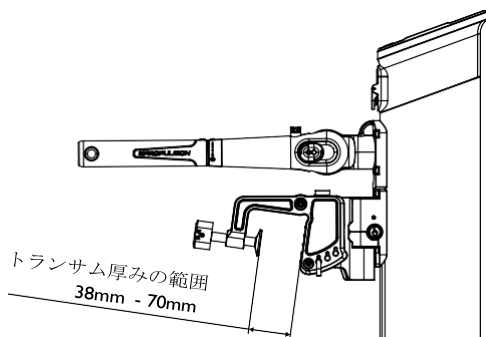


図 4.1

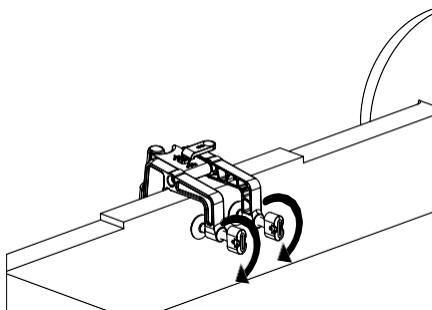


図 4-2

## 4-2 モーターの取付

- 💡 クランプブラケットが緩んでいると船外機の落水や破損の原因となりますので、クランプブラケットは確実に取り付けてください。機械的振動によりクランプハンドルが緩む可能性があるため、使用前に毎回クランプハンドルを確認してください。
- 💡 クイックリリースマウントが固着している場合は、モーターを取り付ける前にきれいに洗い流してください。
- 💡 船外機がブラケットから外れて紛失や水没の恐れがありますので、船外機とボートをストラップ穴にロープやチェーンを通して接続することをおすすめします。

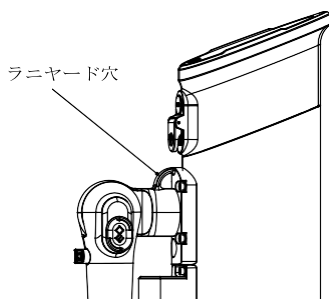


図 4.3

ステップ 1: ティラー調整トグルを引き出すか回転させてティラーを上げます(セクション 2.1 参照)

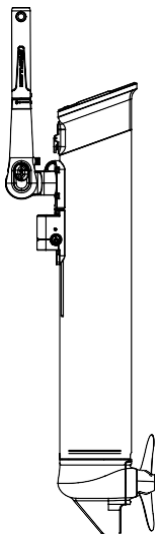


図 4-4

ステップ 2：船外機を両手で持ち、クイックリリースマウントをクランプブラケットのダンピングシャフトに合わせて、ゆっくりとモーターを所定の位置に下ろします。

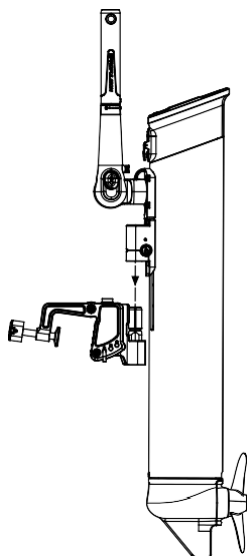


図 4.5

ステップ 3：モーターが正しく設置されていることを確認してください。ぐらついていないこと、ぶつかっても上に押し上げられないことなどです。

### 4-3 モーターの取り外し

ステップ 1：クイックリリースボタンを押し取り外します。

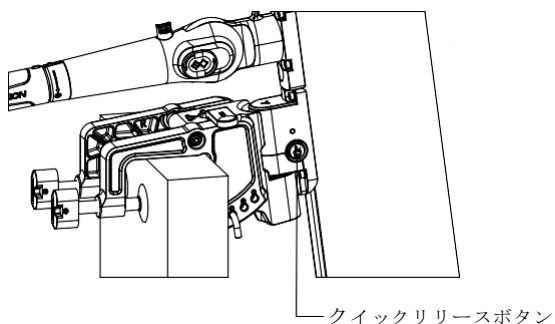


図 4-6

ステップ 2 : 船外機を両手で持ち、ゆっくりと上に持ち上げます。

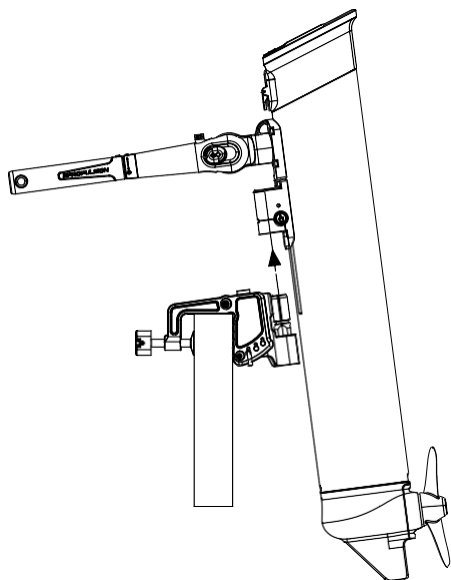


図 4.7

## 5 運転

---

### 5-1 運転前チェックリスト

1. バッテリーが十分に充電されていることを確認します。電源ボタンを1回押すと、ディスプレイにバッテリー残量が表示されます。
2. クランプブラケットがトランサムの正しい位置にしっかりと固定されていることを確認します。
3. プロペラが船外機に正しく取り付けられていることを確認します。
4. スロットルがニュートラル位置にあることを確認します。
5. スロットルがスムーズに動くことを確認します。

### 5-2 運転開始

eLite 電動船外機には、標準モードとスポーツモードの2つの動作モードがあります。標準モードの最大出力は500W、スポーツモードの最大出力は750Wです。重大な障害が発生した場合、モーターは直ちに動作を停止し、エラーコードが画面に表示されます。それほど深刻ではない障害の場合は、電力低減モードに入ります。詳細については、セクション 6.5 を参照してください。

#### 5-2-1 標準モード

eLite 電動船外機は、最大出力 500W の標準モードで起動します。バッテリー残量が低下したり、制限を超え高温になると、最大出力電力は減少します。詳細については、セクション 6.4 を参照してください。船外機を始動する手順は次のとおりです。

ステップ 1: キルスイッチのリストバンドを手首またはライフジャケットに取り付けます。

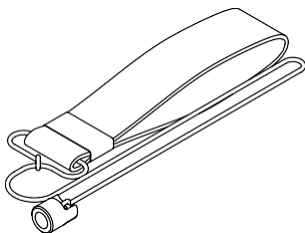


図 5-1

ステップ 2 : キルスイッチをキルスイッチの穴に挿入します。

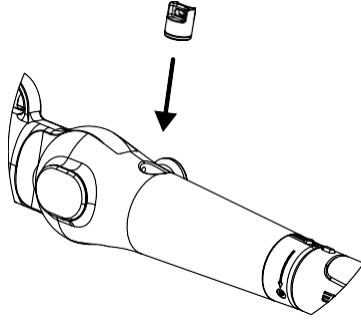


図 5.2

ステップ 3 : 電源ボタンを2秒間押し続けて、船外機の電源を入れます。



図 5.3

ステップ 4 : スロットルハンドルを回して前進または後退します。

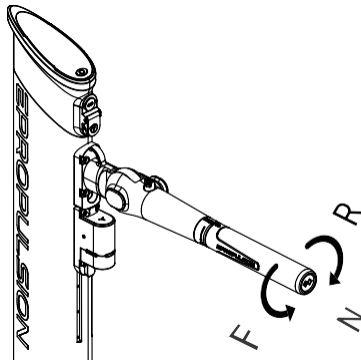


図 5-4

## 5-2-2 スポーツモード

スポーツモードに入るには、eLite 電動船外機のスイッチが入っているときに電源ボタンをすばやく2回押します。もう一度2回押すとスポーツモードを終了します。スポーツモードでは、最大出力電力を500Wから750Wへ増やすことができ、(十分なバッテリー容量がある場合)、以下に示すように画面に文字 S が表示されます。スポーツモードは1分後に自動的に終了します。



図 5.5

## 5-3 運転停止

eLite 電動船外機は 3 つの方法で停止できます。

方法 1: スロットルハンドルをニュートラル(N)位置に回します。

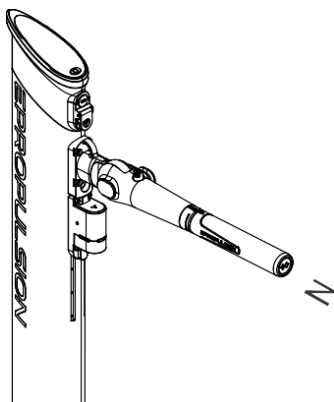


図 5-6

方法 2: キルスイッチ穴からキルスイッチを取り外します。これは、例えば操船者がキルスイッチのストラップを手首に取り付けていて、転倒した場合に自動的に発生します。常にキルコードを着用してください。

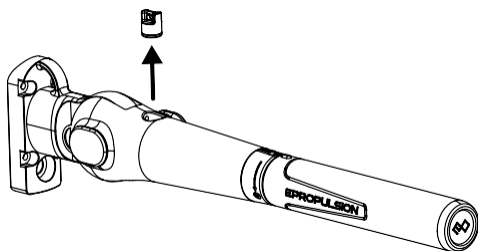


図 5.7

方法 3: 電源ボタンを 2 秒間長押しして、船外機の電源をオフにします。

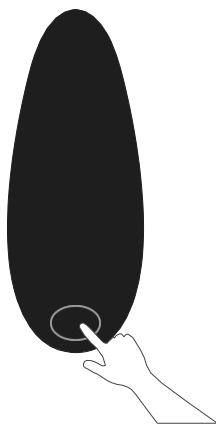


図 5.8

**!** スロットルをニュートラルの位置にして、30分間何も操作しないと、船外機は自動的に停止します。

## 5-4 チルトアップとリリース

eLite電動船外機にはトリム・チルト機能が付いています。船外機を一定時間停止する場合や浅瀬に寄せる場合は、船外機をチルトアップして下さい。水中の障害物との衝突によるプロペラやモーターハウジングの損傷を防ぎ、腐食も軽減します。



## 5-4-1 モーターチルト

ステップ 1：トリムレバーを上持ち上げます。

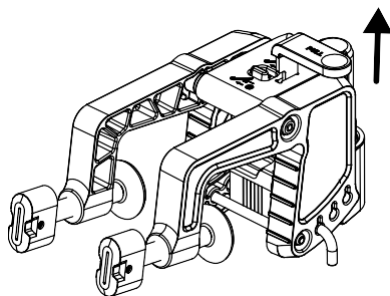


図 5.9

ステップ 2：船外機を最高点まで傾けて手を放します。シャフトは、トランサムに対して  $75^\circ$  の位置に固定されます。

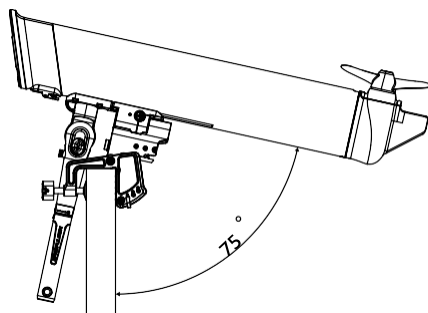


図 5.10

## 5-4-2 モーターリリース

ステップ 1：片手でモーター本体をしっかりと持ち、もう一方の手でトリムレバーを上方向に限界まで持ち上げます。

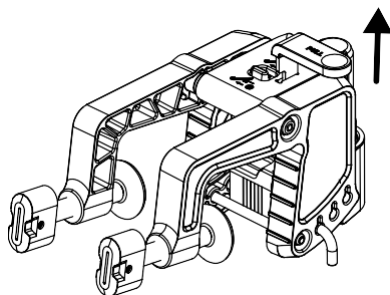


図 5.11

ステップ 2: 船外機をコントロールしながら（落とさないように）、船外機を水中に振り下ろします。希望の位置にあること、つまりボートに荷物を積んだときにプロペラが垂直になっていることを確認します。

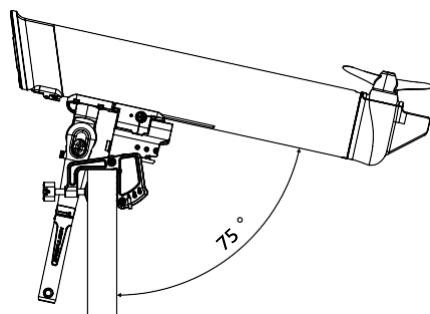


図 5.12

## 6 インターフェース

### 6-1 ディスプレイパネル



図 6.1


### 6-2 電源ボタン


Items	Function	Figure
電源オフの時に電源ボタンをすばやく押す	バッテリー残量を確認する	<p>The figure shows the same device as in Figure 6.1, but with the digital display showing '100%' and a hand icon pressing the power button at the bottom.</p>


Items	Function	Figure
<p>電源がオフの時に電源ボタンを2秒間長押し</p>	<p>電源オン(起動)</p>	
<p>電源が入っている時に電源ボタンを押す</p>	<p>メインの数値表示をモーター電力出力 (0 ~ 750W) とバッテリー残量 (%) の間で切り替えます。下のバッテリー残量表示はどちらの状態でも表示され続けます</p>	
<p>電源が入っている時に電源ボタンを2回押す</p>	<p>通常パワーモードのときにスポーツパワーモードに入ります。スポーツパワーモードの場合は、通常パワーモードに戻ります。</p>	

Items	Function	Figure
<p>電源が入っている時に電源ボタンを2秒間長押し</p>	<p>シャットダウン</p>	
<p>電源が入っているときに電源ボタンを6秒間長押し</p>	<p>キルスイッチ紛失モードに入る。キルスイッチが設置されている場合、キルスイッチ紛失モードは自動的に終了します。</p>	

### 6-3 キルスイッチ

- 

1. キルスイッチを使用する前に、キルスイッチのリストバンドとコードに破れ、切り傷、磨耗がないか確認してください。常に予備のキルスイッチを携帯してください。
- 

2. 使用する前に、キルスイッチが正しく機能しているかどうかを確認してください。船外機が停止し、キルスイッチアイコンがディスプレイ上で点滅し、ピーブ音が鳴ります。そうでない場合は、別のキルスイッチを試すか、販売店へお問い合わせ下さい。
- 3. キルスイッチは磁場を生成します。ペースメーカーなどの医療用機器や磁気カード（クレジットカードなど）、その他の磁気媒体からは50cm離してください。
- 

4. キルスイッチの磁場が一部の電子機器に干渉する可能性があります。これらの電子機器から遠ざけてください。

eLite電動船外機キルスイッチには、船外機との相互作用的な機能があります。船外機を作動させる際、キルスイッチがキルスイッチ穴から外れると、船外機は直ちに停止し、「ピー」という音が鳴ります。画面上のキルスイッチアイコンとニュートラルギアアイコンが点滅します。



図 6.2




- キルスイッチがまだある場合は、交換します。船外機はスロットルがニュートラル位置にある場合にのみ再始動できることに注意してください。
- キルスイッチを紛失した場合は、予備のキルスイッチを使用して下さい。予備のキルスイッチが無い場合、船外機は正常に始動せず、キルスイッチ紛失モードになります。電源が入っている状態で、電源ボタンを6秒間長押しするとこの状態になります。2秒長押しで電源オフ音が鳴り、4秒長押しで電源オン音が鳴ります。キルスイッチ紛失モードに入った後も、キルスイッチアイコンは表示され続けます。キルスイッチが設置されると、キルスイッチ紛失モードは自動的に終了します。



図 6.3

## 6-4 バッテリーインジケータ

eLite 電動船外機にはバッテリー通知機能が付いています。バッテリー残量が50%、20%、10%、または5%になると、船外機はディスプレイとブザーで注意を促します。

バッテリー通知レベル	バッテリー表示	ディスプレイ	音通知	標準モードの最大出力	スポーツモードの最大出力
100%		通常表示	有り	500W	750W
50%		自動的に電池残量表示に切り替わり、電池残量バーが3回点滅します。点滅後、自動的に前のインターフェースに戻ります。	有り	500W	600Wまでに制限
20%		自動的に電池残量表示に切り替わり、電池残量バーが3回点滅します。点滅後、自動的に前のインターフェースに戻ります。	有り	500W	600Wまでに制限

10%		<p>自動的に電池残量表示に切り替わり、電池残量バーが3回点滅します。点滅後、自動的に前のインターフェースに戻ります。バッテリー残量低下インジケーターが点灯したままになります。</p>	有り	340Wまでに制限	スポーツモードは使用不可
5%		<p>電池残量バーは点滅し続け、バッテリー残量低下インジケーターは点灯したままになります。</p>	有り	340Wまでに制限	スポーツモードは使用不可

## 6-5 トラブルシューティング



図 6.4



障害が発生すると、ディスプレイにアイコンまたはエラーコードが表示されます。障害を解決するには、以下の表を参照してください。

### 6-5-1 フォルト（故障）インジケータ

アイコン		機能
	バッテリー低下	バッテリー残量が 10% 以下で、モーターが電力制限モードになっていることを示します。最大出力は、セクション 6.4 バッテリー通知で説明されているように、バッテリーレベルに応じて制限されます。
	温度異常	船外機の温度が異常で、パワー制限モードに入っていることを示します。最大出力は 250W または 125W に制限されます。
	軽度の故障	船外機に他の故障が発生し、パワー制限モードになっていることを示します。最大出力は 250W に制限されます。
	重大な故障	船外機に重大な故障が発生し、運転を停止したことを示します。

### 6-5-2 エラーコード

Code	Fault Cause	Solution
E14 27 40 41	バッテリー低下	ご使用を中止して充電してください。再起動後も問題が解決しない場合は、販売店へお問い合わせください。
E25 29	プロペラのもつれ	プロペラが絡まっていないか確認してください。問題が解決しない場合は、販売店へお問い合わせください。
Other	/	使用を中止し、再起動して正常に戻るか確認してください。問題が解決しない場合は、販売店へお問い合わせください。

## 7 バッテリー

---

### 7-1 AC-DC 充電

eLite電動船外機には、AC-DC 充電器を使用して充電できる 378Wh リチウムバッテリーが搭載されています。AC-DC充電器は、約5時間でバッテリーをフル充電できます。

以下、充電の流れ：

ステップ 1：電源ボタンを押すとバッテリー残量を確認できます。



図 7.1

ステップ 2：充電カバーを持ち上げて、下図のように充電器を接続します。

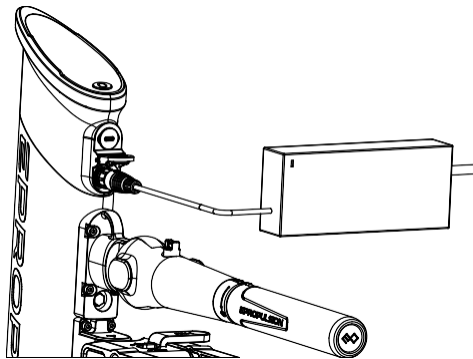


図 7.2

ステップ 3：充電器のプラグをソケットに接続します。下図に示すように、充電器インジケータライトが緑色に変わり、ディスプレイが充電音とともに点灯し、バッテリー残量と充電アイコンが表示されます。



図 7.3

- ⚠ 1. 専用の充電器を使用してください。他の充電器を使用すると、機器の損傷や安全上のリスクが生じる可能性があります。
- ⚠ 2. 充電器またはケーブルが損傷している場合は、使用しないでください。

## 7-2 充電インジケータ



図 7.4 バッテリーレベル 100%

- 1. バッテリー レベルは左から右に表示され、各セグメントはバッテリーレベルの 10% を表します。
- 2. バッテリー残量が 1% ~ 99% の場合、充電中はバッテリー残量インジケータの最後のセグメントが点滅し続けます。
- 3. 充電が始まると充電音が鳴ります。

## 8 USB Type-C 出力

---

eLite電動船外機には、USB Type-Cソケットがあり、携帯電話などのデバイスの充電に使用できます。船外機の電源がオンになると、PD および QC3+ 高速充電プロトコルに準じ、最大22Wの充電電力を提供できます。

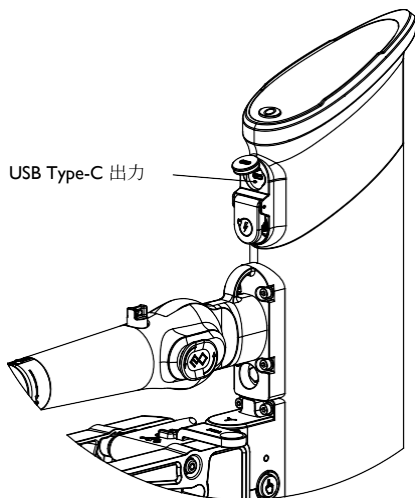


図 8.1

- ⚠ 1. ゴムのプラグを損傷しないように注意してください。
- ⚠ 2. ソケットの腐食を防ぐため、使用しないときはゴムのプラグをしっかりと差し込んでください。

## 9 メンテナンス

### 9-1 注意事項

1. 定期的なメンテナンスにより船外機を最適な状態に保ち、寿命を延ばします。
2. 海岸近くの浅瀬で船外機を始動しないでください。底に接触しないように、船外機を浅瀬モードに調整します。船外機を使用するのに十分な水深になったら、適切なギアに調整して始動してください。
3. 海水で使用した後は、腐食を防ぐため、モーターハウジングおよび海水が接触するすべての部品を速やかに真水で洗い流してください。
4. メンテナンスや修理は必ず船外機の電源を切った状態で行ってください。
5. メンテナンスや修理は、販売店や専門家の指導の下で行ってください。
6. 船外機の部品が破損した場合、または交換が必要な場合は、必ず ePropulsion の純正部品を使用してください。
7. 船外機は涼しく乾燥した場所に保管してください。
8. 船外機を長期間（数週間以上）保管する場合、バッテリー残量は約45%～50%である必要があります。残量レベルは、3か月ごとにチェックし、必要に応じて補充する必要があります。満充電または放電した状態で長時間放置しないでください。

### 9-2 プロペラ点検/交換

船外機にはプロペラが取り付けられて工場出荷されます。使用前および定期的にプロペラとシャフトを検査する必要があります。点検またはプロペラの交換が必要な場合は、以下の図に従ってください。

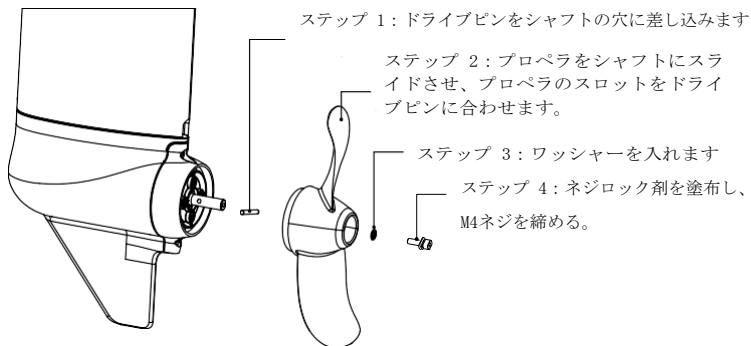




図 9.1

-  1. プロペラの点検、取り外し、取り付けの際は、必ず船外機の電源を切ってください。そうしないと、作業員や周囲の人に重傷を負う可能性があります。
-  2. プロペラのブレードは鋭利なので、点検/取り外し/取り付けの際は手袋を着用することをお勧めします。

プロペラの検査には、次の内容が含まれる必要があります。

1. プロペラブレードに摩耗や損傷がないか確認します。
2. プロペラシャフト、ドライブピン、ドライブピン穴に摩耗や損傷がないか確認します。
3. プロペラに絡まったゴミ (漁網、釣り糸、海草など) がないか確認し、必要に応じて取り除きます。

### 9-3 電気接続メンテナンス

2 か月ごとに充電器と USB ソケットを電気接点クリーナーで掃除し、腐食の兆候がある場合はすぐに掃除してください。

# 10 輸送と保管

## 10-1 ポータブル

eLite電動船外機は、シャフトに沿って折り畳むと (-90 度の位置)、ティラーで持ち運びできるように設計されています。

- ⚠ 1. 船外機を持ち運ぶ前に、必ずキルスイッチ穴からキルスイッチを取り外してください。
- ⚠ 2. 船外機を持ち運ぶときは、船外機の電源が切れていることを確認してください。
- ⚠ 3. 船外機を持ち運ぶ前に、ティラーがロックされていることを確認してください。

ステップ 1: 船外機をブラケットクランプから取り外します。

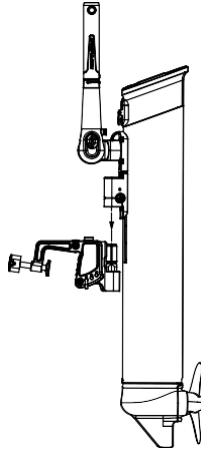


図 10.1

ステップ 2: ノブを調整してハンドルを -90 度に折り、ロックされていることを確認します。

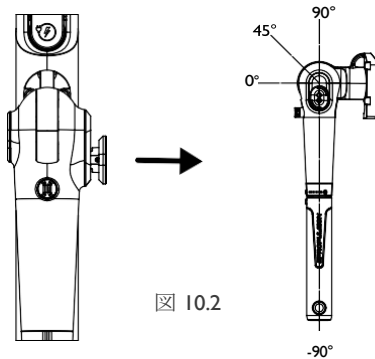


図 10.2

ステップ 3 : ティラーを完全に収納し、ロックされていることを確認します。

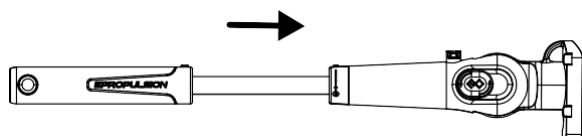


図 10.3

ステップ 4 : ティラーをハンドルとして船外機を持ち運びます。

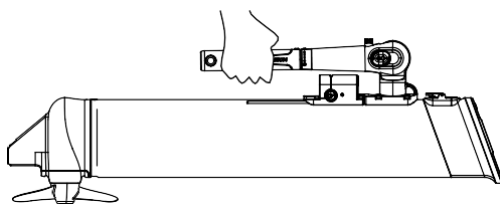


図 10.4

- ⚠ 1. 船外機を持ち運ぶときは、無理な動きを与えないでください。
- ⚠ 2. モーターを置く場合は、船外機が地面に水平に（「eLite」ロゴが上を向くように）置かれていることを確認してください。転倒して破損する危険があるため、垂直または斜めに置いたりしないでください。

## 10-2 船外機バック

eLite 電動船外機には、船外機を持ち運び、保管するための船外機用バックが付属しています。

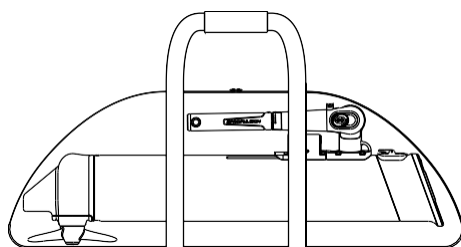


図 10.5



# 11 緊急事態/緊急措置

---

## 11-1 衝突

船外機が水中の物体に衝突した場合は、次のことを行ってください。

1. モーターを直ちに停止します。
2. プロペラを含む機械構造に損傷がないか、制御システムが正常に機能するかどうかを確認します。
3. まだ安全に航行できると思われる場合は、出力を落として港や棧橋に戻ってください。
4. 安全に航行できないと思われる場合は、助けを求めたり曳航したりしてください。
5. 必要に応じて、販売店へ検査と修理を依頼してください。モーターは検査/修理され、安全であると判断された後にのみ再使用してください。

## 11-2 船外機の水没

モーターが適切に保管されていなかったり、以前に水没したことがある場合、モーターの内部に水が浸入する危険性があります。このような状況では:

1. すぐに停止し、電源ボタンで電源を切ります。
2. 販売店へ問い合わせしてください。今後使用する前に検査/修理できるよう、何が起こったのかを伝えてください。

## 12 保証

---

### 12-1 保証の条件

Guangdong ePropulsion Technology Limited. (“ePropulsion”), China, は、請求書の配達日から 24 か月間 (以下「限定保証期間」)、適切な取付と定期メンテナンスを行った通常の使用において、その製品に材料および製造上の欠陥がないことを保証します。限定保証は、ePropulsion 製品の最初のエンドユーザーのみに提供されます。お客様は、欠陥部品または不適合部品を無償で修理または交換する権利を有します。保証請求は、以下に規定されているように、問題の発見から 6 か月以内に行う必要があります。

限定保証期間が終了した場合でも、コストを最小限に抑えるよう販売店からのメンテナンスサービスを引き続きお楽しみいただけます。

すべての保証の場合において、ePropulsion は限定保証の対象となる商品の修理または交換費用のみを負担します。製品の設置、分解、輸送、融資、レンタルなどに関連する費用など、限定保証の対象とならない費用は、お客様のみが負担するものとします。

限定保証を超えて、お客様は適用法に従って管轄区域内で法的権利を有する場合があります。この限定保証のいかなる規定もかかる権利には影響しません。お客様は、この限定保証によって付与される権利に加えて、販売店との購入契約から生じる保証請求権を有する場合があります。

商業目的または業務目的\*で 사용되는製品は、たとえ一時的であっても、限定保証の対象になりません。代わりに、管轄区域の法定保証が適用されます。このような使用を行う前に、該当する保証とアドバイスについて販売店に相談することをお勧めします。

**\* 商業目的には、製品が営利を目的として使用される場合、または高頻度または非常に高い信頼性要件などが含まれます。**

保証を有効に保つために、次の点にご注意ください:

- オリジナルの製品ラベルのない製品は、ePropulsion の限定保証の対象になりません。製品ラベルをそのままの状態 で保管し、シリアル番号を記録してください。製品からラベルを決して剥がさないでください。

- 限定保証は譲渡できず、再発行されません。
- 限定保証は随時変更される場合があります。最新バージョンについては、Webサイト (<http://www.epropulsion.com>) をご覧ください。

## 12-2 保証範囲

ePropulsionは、次の場合に保証請求を拒否することがあります。

- 製品がユーザーマニュアルに記載されている内容に反して操作された。
- 事故、悪用、落下、不適切な手入れや保管、故意の乱用、物理的損傷、不正な修理によって生じた損傷。
- 漁網や水没などの外部要因によって引き起こされた事象。
- 製品が推奨されていない方法で改造・分解または部品/付属品が取り付けられていた。
- サードパーティ製品の故障または損傷による場合。
- バッテリーが不適切に充電されたり、過充電されたり、過放電されたり、極端な温度で動作したりした場合。
- 消耗品として分類されるアイテム (交換用プロペラなど)。
- 製品が未承認の販売店または販売者から購入された場合。
- 不具合は、通常の損耗または定期的な保守として分類されます。
- 返品時の製品の不適切な梱包または取り扱いにより損傷が生じた場合。
- 誤った出荷。この製品には、**UN9** 危険物として分類されるリチウム電池が含まれており、管轄区域の規制に従って出荷する必要があります。準拠しない場合、保証から除外される場合があります。

## 12-3 限定保証の請求手順

限定保証の請求を行うには、以下に示すプロセスに従う必要があります。

1. 問題の詳細については、ご購入頂きました販売店へお問い合わせください。欠陥が限定保証の対象となるか、または購入時にお客様に付与される追加の権利が適用されるかどうかをアドバイスします。
2. 欠陥のある製品を、初回 (初回) の購入を証明するもの (購入した製品と購入日の情報が記載された領収書、請求書、オンライン保証登録やシリアル番号など) と一緒に、販売店へ送付します。すべてのラベルはそのままにしておく必要があることに注意してください。保証請求は、上記の情報が正しく、本物で、完全である場合にのみ有効です。
3. 配送中は製品が適切に梱包されていることを確認してください。

元の梱包を強くお勧めします。

4. 販売店は、欠陥のある製品を検査および診断し、保証請求の有効性を確認します。
5. 保証請求が受け入れられた場合、製品またはその欠陥のある構成部品は無料で修理または交換されます。その際に発生する送料はお客様ご負担となりますので予めご了承ください。
6. 保証請求が拒否された場合は、修理/交換の費用と往復送料を含む手数料が見積もられ、確認のためにお客様に送信されます。販売店は、お客様が修理/交換の続行を希望し、料金を支払う旨の書面による確認を行った後にのみ作業を開始します。







このユーザーマニュアルをお読みいただきありがとうございます。  
お読みになり、気になる点や問題点がございましたら、  
お気軽にお問い合わせください。喜んでサービスをご提供いたします。

Guangdong ePropulsion Technology Limited

Webseite: [www.epropulsion.com](http://www.epropulsion.com)

E-Mail: [service@epropulsion.com](mailto:service@epropulsion.com)